



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ユニチカ株式会社

コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 注連 浩行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	31,289	△12.4	3,153	38.7	1,637	△11.6	1,191	△23.3
28年3月期第1四半期	35,734	△5.8	2,273	48.2	1,852	184.2	1,552	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,388百万円 (△0.8%) 28年3月期第1四半期 1,400百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.63	0.91
28年3月期第1四半期	2.26	1.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	203,173	38,327	17.2
28年3月期	219,957	37,936	15.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 34,981百万円 28年3月期 34,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	△9.9	5,200	17.6	4,100	34.4	3,200	85.9	4.68
通期	137,500	△6.1	11,700	12.0	9,000	31.9	7,000	1.0	10.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社、除外 2社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	577,523,433 株	28年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	805,796 株	28年3月期	805,686 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	576,717,677 株	28年3月期1Q	576,728,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	23,740.00	23,740.00
C種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境には一定の改善が見られたものの、株価及び為替の不安定な動きを背景に企業収益や個人消費の停滞感が強まり、景気の足踏み状態が続きました。また、海外でも英国のEU離脱決定による影響への懸念、アジアや中南米など新興国における成長鈍化により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、平成26年5月からスタートした中期経営計画に掲げる成長戦略の早期実現に向け、高分子事業を中心とする機能素材メーカーとしての基盤強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31,289百万円（前年同四半期比12.4%減）、営業利益は3,153百万円（同38.7%増）、経常利益は1,637百万円（同11.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,191百万円（同23.3%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、国内では猛暑予測に向けての需要が増え、前期に引き続き好調に推移し、海外でも当社子会社であるP.T. EMBLEM ASIA（エンブレムアジア）の生産能力増強に伴い販売数量が増加しました。工業分野は、情報端末機器用途で需要が減少しましたが、耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」などの高付加価値品の販売が拡大したことにより収益は増加しました。

樹脂事業では、ナイロン樹脂は、原油安に伴う販売価格改定などの影響を受けやや減収となりましたが、当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」や熱可塑性飽和共重合ポリエステル樹脂「エリーテル」などの高機能樹脂は堅調に推移し、樹脂ドメインの子会社も好調に推移し収益に貢献しました。

不織布事業では、ポリエステルспанボンドは、農業用途等で低調に推移しましたが、産業資材用途等の販売数量の増加により収益は増加しました。コットンспанレースは、前期に引き続きスキンケア用品などの生活資材用途が好調に推移しました。

高分子事業全体では、原燃料価格の下落も収益に貢献しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は14,003百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は2,661百万円（同55.7%増）となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、建築資材用途が好調に推移しましたが、電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途での需要の回復が遅れ、低調に推移しました。

ガラスビーズ事業では、工事遅延などによりロードマーキング用途で受注が伸び悩みましたが、工業用途では堅調に推移し、反射材用途は海外向けが堅調に推移しました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途でユーザーの生産調整によりやや低調に推移しましたが、気相用途が堅調に推移するとともに、環境関連などの産業分野でも好調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は2,911百万円（同6.4%増）、営業利益は273百万円（同25.7%減）となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、土木用途の販売が前期に引き続き低調に推移しましたが、複合繊維など高採算製品の販売が拡大し、収益は増加しました。ポリエステル短繊維は、前期までに実施した低採算製品の事業縮小に伴い売上が減少しましたが、計画通りの収益を確保しました。

衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、サービス産業向けと企業向け別注品が堅調であり、レディース分野も生地や二次製品の販売が好調に推移し増収となりました。スポーツ分野や寝装分野は、需要が回復せず低調に推移しました。海外では、円高の影響などにより収益が減少しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は13,576百万円（同16.6%減）、営業利益は369百万円（同38.4%増）となりました。

【その他】

その他の事業につきましては、前期に実施した事業ポートフォリオ改革に伴う株式譲渡や事業譲渡などの影響により、その他の売上高は798百万円(同73.4%減)、営業損失は146百万円(前年同四半期は82百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ16,784百万円減少し、203,173百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ17,175百万円減少し、164,845百万円となりました。これは、主として長期借入金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ391百万円増加し、38,327百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社の2社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,101	26,993
受取手形及び売掛金	35,811	34,118
たな卸資産	27,566	27,176
その他	4,228	4,461
貸倒引当金	△106	△93
流動資産合計	109,601	92,656
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	22,068	21,326
土地	66,869	66,847
その他(純額)	15,230	16,076
有形固定資産合計	104,168	104,250
無形固定資産		
その他	1,714	1,774
無形固定資産合計	1,714	1,774
投資その他の資産		
その他	4,505	4,523
貸倒引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	4,473	4,491
固定資産合計	110,356	110,516
資産合計	219,957	203,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,322	14,989
短期借入金	1,827	1,720
1年内返済予定の長期借入金	363	342
未払法人税等	215	187
賞与引当金	1,256	680
製品改修引当金	2,630	2,403
事業構造改善引当金	989	994
その他	9,298	8,800
流動負債合計	31,904	30,119
固定負債		
長期借入金	124,142	108,948
役員退職慰労引当金	7	4
退職給付に係る負債	11,513	11,512
その他	14,452	14,259
固定負債合計	150,116	134,725
負債合計	182,020	164,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	28,401	28,401
利益剰余金	5,708	5,902
自己株式	△46	△46
株主資本合計	34,164	34,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433	484
繰延ヘッジ損益	△203	△163
土地再評価差額金	6,474	6,433
為替換算調整勘定	△2,662	△2,615
退職給付に係る調整累計額	△3,608	△3,515
その他の包括利益累計額合計	434	623
非支配株主持分	3,338	3,346
純資産合計	37,936	38,327
負債純資産合計	219,957	203,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	35,734	31,289
売上原価	28,358	23,356
売上総利益	7,376	7,932
販売費及び一般管理費	5,103	4,778
営業利益	2,273	3,153
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	38	41
受取賃貸料	31	73
為替差益	161	—
その他	175	184
営業外収益合計	409	305
営業外費用		
支払利息	605	539
持分法による投資損失	5	0
為替差損	—	1,084
その他	219	196
営業外費用合計	830	1,820
経常利益	1,852	1,637
特別利益		
固定資産売却益	—	61
関係会社株式売却益	375	—
特別利益合計	375	61
特別損失		
固定資産処分損	76	91
事業構造改善費用	211	101
その他	59	33
特別損失合計	347	225
税金等調整前四半期純利益	1,880	1,473
法人税、住民税及び事業税	△2	118
法人税等調整額	308	115
法人税等合計	306	234
四半期純利益	1,574	1,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,552	1,191

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,574	1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	51
繰延ヘッジ損益	16	40
土地再評価差額金	—	△41
為替換算調整勘定	△392	6
退職給付に係る調整額	84	93
その他の包括利益合計	△174	149
四半期包括利益	1,400	1,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,395	1,380
非支配株主に係る四半期包括利益	4	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,719	2,736	16,277	32,733	3,001	35,734	—	35,734
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,688	270	196	3,154	255	3,410	△3,410	—
計	16,407	3,006	16,473	35,888	3,257	39,145	△3,410	35,734
セグメント利益又は損失 (△)	1,709	368	266	2,344	△82	2,262	11	2,273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,003	2,911	13,576	30,490	798	31,289	—	31,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,197	210	230	2,638	282	2,921	△2,921	—
計	16,200	3,121	13,807	33,129	1,080	34,210	△2,921	31,289
セグメント利益又は損失 (△)	2,661	273	369	3,304	△146	3,158	△4	3,153

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種プラントの設計施工及び整備保全等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。